



制作：名城大学薬学部 病態解析学 I・Eプロ（林 千裕、中村真理子、野田幸裕）、薬品作用学（間宮隆吉）、衛生化学・Eプロ（高木修平）
監修：NPO J-DO

平成 30 年 7 月 14 日（土）みよし市立三好丘小学校にて
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」
「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」の出前授業・Eプロを開催：
特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）と共催



名城大学薬学部では出前講義の一つとして、高齢者や小学生にも「くすり」や「薬物依存」のことを知ってもらう授業や体験実験を特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）の協力の下に行っています。今年度は名城大学 Enjoy Learning プロジェクト（通称：Eプロ）の薬学生と共に行うことになりました。

三好ヶ丘子ども会（伊藤亜津美様、加藤智恵子様）からのご依頼により、平成 30 年 7 月 14 日（土）、みよし市立三好丘小学校にて「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」「薬物乱用・依存」を下記の内容にて開催しました。当日は、小学生 1～6 年生 71 名がくすりについて学び、「色が変わる実験が楽しかった」「また実験をやりたい」と大好評でした。なお、Eプロの記念すべき 1 回目の開催でもありました。



——— みよし市立三好丘小学校における「くすり教室」 ———

日時：平成 30 年 7 月 14 日（土）10 時 00 分～11 時 15 分

場所：みよし市立三好丘小学校 体育館

内容：

・「実験を始める前のお話」：Q&A 方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A 方式で小学生が答える、児童参加型で行いました。学部 6 年の高木修平（衛生化学研究室アドバンスト学生・Eプロ）がスライドを使ってわかりやすく説明し、小学生が元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

・「体験実験」

学部 6 年の林 千裕がスライドを使ってわかりやすく実験の説明をする中、小学生は 12 グループ（1 グループ 5～6 名）に分かれ、内容をより理解できるように、名城大学薬学部 間宮隆吉准教授（NPO J-DO 理事）、野田幸裕教授（NPO J-DO 副理事長）、薬学生（病態解析学 I・Eプロ 博士課程 4 年生 1 名、5、6 年生 14 名）が補助しながら、体験実験を行いました。



<実験項目>

1. コップ一杯の水かぬるま湯で「くすり」をのむのはなぜ？
2. 水がなくても飲める薬があるのを知ってる？
3. 「くすり」を「お茶」で飲むとどうになってしまうの？
4. 「うがいぐすり」でうがいした後に、すっぱい食品を食べるとどうになってしまうの？



みよし市立三好丘小学校における授業 「乱用薬物には絶対手を出さない！」

日時：平成30年7月14日（土）11時15分～12時00分

場所：みよし市立三好丘小学校 体育館

内容：

- ・「乱用薬物には絶対手を出さない！」：講義、実験

どのような薬がドラッグとして乱用されているか、薬物乱用はどのように怖いのか、乱用されているくすりの正しい情報、薬物乱用者の実態、薬物乱用に対してみんなができることについて、野田幸裕教授がスライドを使用して分かりやすく説明しました。講義中には、「タバコによって成長はどうなってしまふのだから？」については連続写真を用いて、「シンナーを吸うと体はどうなってしまふのだから？」については各グループにおいて薬学生による実験を行い、薬物乱用の恐ろしさについてしっかりと視覚的に理解が深められました。

